

No. 15 ○さん	24歳（男性）
I. 前就労期（学歴、職歴、生活習慣、対人行動、気持ち）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校から高校まで、休日は自宅にいることが多く、友人宅に行くことも少なかった。 ・ 中学までは剣道部に所属し、上下関係は大変だったが、3年の時は楽しめた。 ・ 高校は「一応」進学校。大学では特にやりたいこともなく、そのまま3年が過ぎる。 ・ 大学ではスポーツ愛好会に所属したが、あまりコミットしなかった。 	
II. 未就労期（きっかけ、生活習慣、対人行動、気持ち、継続要因）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学3年次の就活が始まる際に、もともと会話が苦手なことから就職試験の面接が不安になり、なかなか就職試験を受ける気にならず、引きこもるようになる。 	
III. 被支援期（きっかけ、支援内容とその長短、影響や変化、気持ち）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 引きこもっている本人に対し、母親が自立塾を紹介する。その時は「正直いやだなあ」と思ったが、入塾1週間辺りに他の入塾者と食事に行ったことで慣れてきた。 ・ 入塾後には周囲の人から、表情が良くなった・明るくなったと言われる。これに対しては、嬉しい反面、半信半疑な部分もある。 ・ それまでバイト経験はなかったが、自立塾での経験を通じて、「自分でもできるんだな」という実感が湧いた。仕事場でも塾でも、「人とうまくやっていけるんだな」と思えた。 ・ 男性では自分が最年長で、嫌な仕事も自分から進んでやるようになった。 	
IV. 現在（就労のきっかけ、気持ち、成長可能性、今後の考え方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入塾して3ヶ月が過ぎ、これからのことを考えている時に、しいたけ栽培・販売の話が来る。面接を受けて就職する気持ちにはならず、紹介で就職できるならと思い、その仕事に就く。就職直後はとても緊張したが、社員が話しかけてくれるなどして、今まで続けられている。 ・ 今後、今の給料ではやっていけないので何か考えないといけないとは思っているが、具体的にどこでどんな仕事という考えはない。これから何をしたいというのもない。 ・ 親から時々電話が来て、本人が困っている時は「困ったことがあつたら何でも言ってくれ」と言ってくれており、本人も何かあればとりあえず両親に言う。 ・ 自分の長所は我慢強さであり、それが現在の自分を支えている。 	